

# 魅力ある高校づくり

中学生から選ばれる魅力ある高校となるよう、各校の実情に応じて次のとおり取り組みます。



## 学校・家庭・地域等との連携の推進

- 国内外の高校や大学等と連携した共同事業体（コンソーシアム）の構築等による生徒の進路志望に応じた高度な学びを提供するなど、各校種等との連携を推進します。
- 地域等への理解を深める学習である「あおり創造学」を進めることにより生徒の「ふるさとあおり」への愛着や誇り、夢を抱き未来に向かって挑戦する意欲の醸成等に取り組むなど、家庭・地域等との連携を推進します。

## 教育活動の充実に向けた取組

### 全国からの生徒募集の導入

- 県外から目標を持った生徒を受け入れ、近年、入学者数が定員に満たない高校の活性化を進めるため、高校が所在する市町村の意向等を踏まえながら、全国からの生徒募集を導入（令和5年度入学者選抜からの導入を基本）します。

### その他の取組

- 「各校に関する情報発信の充実」、「特別な支援を必要とする生徒等への対応」、「ICTの活用による教育活動の充実」、「施設・設備の充実」等に取り組む、学校内外の教育資源を積極的に活用しながら、中学生に選ばれる魅力ある高校となるよう、各校の特色化・魅力化を図ります。

## 全国からの生徒募集導入校の決定方法

以下のいずれかに該当する高校（候補校）のうち、高校が所在する市町村から支援を前提とする申し出があった高校について、県教育委員会と市町村が協議した上で導入校として決定

- ① 第2期実施計画において地域校とする高校  
（鱒ヶ沢高校、六ヶ所高校、大間高校、三戸高校）
- ② 過去5年の定員充足率の平均が90%以下の高校  
（第2期実施計画における統合対象校を除く）  
（柏木農業高校、野辺地高校、七戸高校、名久井農業高校）

## 県民の理解と協力の下での高校教育改革の推進

### 青森県立高等学校教育改革推進計画の進捗管理

- 高校教育を巡る環境の変化や中学校卒業生数の見込み、生徒の志願・入学状況等を確認の上、第2期実施計画の取組状況について検証し、必要に応じて実施計画を見直します。

### 次期実施計画の策定

- 今後も引き続き、教育環境の充実に取り組む必要があることから、令和10年度以降を計画期間とする次期実施計画を策定することとします。その策定に当たっては、県民の皆様からご意見を伺う機会を設けながら、新たな時代を主体的に切り拓く子どもたちを育てるための高校教育の在り方を検討してまいります。

## 高校教育改革Q&A

**Q1. 第2期実施計画期間中の高校の募集人員や学級減は、いつ公表されますか。**

**A1.** 毎年10月頃に、翌年度の募集人員と翌々年度の募集人員（見込み）を公表しています。なお、令和5年度の募集人員見込みについては、第2期実施計画策定期間に合わせ、令和3年11月に公表しています。

**Q2. 令和5年度に学級減・学科改編を行う高校はありますか。**

**A2.** 令和5年度については、弘前南高校と八戸北高校の学級減を予定しています。なお、学科改編は予定していません。

# 青森県立高等学校教育改革推進計画第1期実施計画

## 重点校、拠点校の令和3年度の取組を紹介します！

県教育委員会では、生徒数が減少する中であっても、県全体における高校教育の質の確保・向上を図るため、青森県立高等学校教育改革推進計画第1期実施計画に基づき、普通科の重点校6校、農業科・工業科・商業科の拠点校6校を各学科の教育活動の中核的な役割を担う高校として配置しています。

今回は重点校、拠点校の各校が他校と連携する具体的な取組の一部として、田名部高等学校と青森商業高等学校の取組を紹介します。

### 重点校

【田名部高校の取組】  
英語指導力向上研究会（オンライン）

日程：令和3年9月17日 場所：田名部高校  
参加：七戸高校、野辺地高校、弘前南高校、六ヶ所高校、西北教育事務所、三沢市教育委員会、青森市立浪打中学校、むつ市立近川中学校から各1名



英語指導力向上研究会は、田名部高校が大学と連携しながら研究・開発した、コミュニケーション中心の英語の指導方法である「TANABU MODEL」をととして育成した知識・技能を評価するための定期考査のあり方について協議する研究会を実施し、県内中学校・高校の英語科教員の指導力向上を図るものです。

現在、新学習指導要領に基づいた考査作りについて検討中だったので、本研究会は大変興味深い内容でした。特に、田名部高校の先生方の試行錯誤を重ねた授業や評価方法に感銘を受けました。



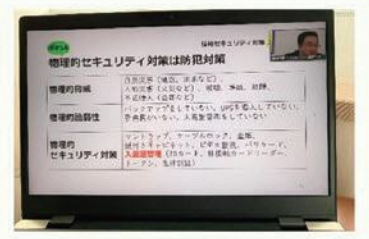
講師である大学教授からの助言にあった、考査は教育活動の一環であって教育的フィードバックが一番重要であるとの観点や、生徒の状態を見取る重要性、CAN-DO リストの在り方など、とても参考になりました。

### 拠点校

【青森商業高校の取組】  
情報処理技術者試験対策講座リモート講習

日程：令和3年9月4日 場所：各家庭におけるリモート講習  
参加：青森商業高校、黒石商業高校、三沢商業高校、八戸商業高校、弘前東高校の5校から合計31名

情報処理技術者試験対策講座は、高度IT人材の育成を目的とした取組です。今年度は個人情報取扱担当者や企業の情報資産管理担当者を対象とした「情報セキュリティマネジメント試験」（国家資格）に関する講習を行いました。例年は津軽地区、県南地区の会場に集まって開催していますが、今年度は新型コロナウイルス感染防止対策として、県外講師の講義をリモート配信し、各校の生徒は情報端末を使って自宅を受講しました。



問題文から必要な情報を正確に読み取る力が重要であることを実感しました。今回学んだことを生かして、今後試験に臨みたいと思います。



問題文の中に必ずヒントがあることを知り、大変参考になりました。将来の夢であるセキュリティエンジニアを目指して、勉強を継続します！